



島教協

《すべては「子どもたちのために」》

# 情報

http://  
www.kyougikai.org

E-mail  
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 田中 勝

No.685

## 年頭所感

会長 吉田 修

明けましておめでとうございます。島教協会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと拝察申し上げます。

さて、会員のみなさんは年末年始をどのように過ごされましたか。私は例年通りの年末年始を過ごさせていただきました。勤務校での忘年会で大いに盛り上がりつつ二学期を終え、年末は家族で大掃除。気持ちよくお正月を迎えられるように、家の中や外をきれいにしました。また、家族それぞれ年の賀状を印刷するのも私の仕事です。大晦日には年越しそばをいただき、テレビはNHKを中心に見て過ごしました。年が明け元日を迎えると、家族、神棚、仏壇に年始のあいさつをしておせち料理をいただき、近くの神社に初詣をしました。

そんないつもの光景の中、おせち料理を食べていたときのことです。おばあちゃんが一品一品についてその由来を孫たちに教えながら食べさせていました。

「黒豆はまめまめしく働けますように、数の子は子孫繁栄、田作りは・・・。」という具合です。孫たちもここにこして聞きながら、「海老は腰が曲がるまで元氣にっ」といってとだよね。一などと話しながら盛りつけられたものを残さず食べていました。



「こうやって「日本人の心」や「日本人の生活の知恵」といった「日本の伝統の継承」が当たり前のようになされていることに嬉しい気持ちになり、とても有り難く感じました。

というのは、昨年の二ユースでノロウイルスなどによる集団食中毒を防ぐために「餅つき大会」が相次いで中止されたということがあったからです。伝統を絶やしたくないがリスク管理が難しいということでした。餅つき大会の他にも、保育園では投げた豆が耳や鼻に入るおそれがあることから、豆ではなく新聞紙を丸めたもので豆まきをするとか、ながらスマホを助長するということなどで座って読書をする二宮金次郎像が増えてきたとか、騒音の苦情に配慮して除夜の鐘を夜ではなく夕方明るいうちに撞いてしまうなどのようなことがあると報道していました。

必要以上にリスクを恐れて安易に形を変えてしまうのは少し寂しいという印象もありますが、そこに込められている意味や願いを損なわないように、世の中の変化に合わせて、ある程度形を変えていくことは仕方のないことだと思います。我が家のおせち料理も受け継がれていくものの、この先少しずつ変化していくでしょうし、その他のことも簡略化されていくかもしれません。ただ、たとえそうであっても、「美しい日本人の心」を育む基本は「家庭」であり、そのためには世代を超えた交流が必要であるという「当たり前」のことを再確認した平成二十九年の元旦でした。



平成二十八年年度 中四国ブロック会議に参加



山口県教連委員長 山口 小坂

一月十四日(土)と十五日(日)の二日間、山口県下関市において、全日教連中・四国ブロック会議が開催されました。中国・四国各県から総勢約五十名の参加者がありました。

一日目は、はじめに、「吉田松陰の教育とその影響」について、下関市立歴史博物館学芸員の稲益あゆみ氏から「吉田松陰の思想・事跡を改めて見直し、欠点も含めた松陰

の様々な側面を見ることで、学ぶべき多くのことが見えてくるのではないか」という内容のお話を伺いました。同時に、幼児教育連絡協議会も開催され、山口・香川・徳島・島根の幼稚園を取り巻く様々な情報交換が行われました。その後会場を移動して、「ふくの調理実習」を料理人である講師の指導のもと体験しました。参加者はそれぞれふくの刺身や盛りつけを行い、その後ふくの刺身やふくり・ふくの雑炊を食しながら楽しく歓談を行いました。

二日目は、井上真登全日教連事務局次長から中央情勢報告があり、文科省関連の新年度予算案と、次期学習指導要領の方向性について説明されました。

続いて講演二として、音楽家で作家・元埼玉県教育委員長の松居 和氏を講師に迎え、「親心を育む学校教育における家庭・地域の役割」という演題でお話を伺いました。「子はかすがい、ではなく子育てがかすがい。子育てが、人間社会に信頼関係を、特に夫婦という最小単位から信頼関係を生んできた。これが人間社会の原点であることを確認しなければ大変なことになる。」という現在の日本での子育てについてのお話を伺いました。

中・四国ブロック会議に参加して他県の仲間との交流によって視野を広げ、大いに刺激を受けることができました。



講師の 松居 和氏

平成29年度文部科学関係予算案の主な事項

【全日教連中央情勢報告No. 18より】 12月22日、政府は平成29年度予算案を閣議決定した。文部科学関係予算案の主な事項は次の通りである。今回示された予算案では、発達障害等の児童生徒への「通級による指導」や外国人児童生徒等教育の充実のため計画的に安定して配置できるよう、義務標準法の改正を行い基礎定数化することとし、初任者研修、少人数指導等も含め、本年度は473人の増員となった。また、加配定数についても、小学校専科指導等の改善も認められ、全日教連の主張が通ったものとなった。

◇「次世代の学校」指導体制強化のための教職員定数の充実（義務教育費国庫負担金）

《教職員定数の改善》

- 加配定数の基礎定数化〔+473人〕
  - ・ 発達障害等の児童生徒への「通級による指導」の充実等 +602人  
(対象児童生徒13人に1人の割合)
  - ※基礎定数化に伴う「政策減」(特別支援学級から通級指導への移行) ▲150人
  - ・ 外国人児童生徒等教育の充実(対象児童18人に1人の割合) +47人
  - ・ 初任者研修体制の充実(初任者研修対象者6人に1人の割合) +75人
  - ・ 指導方法工夫改善加配の一部(約9,500人)を基礎定数化 ▲101人
- 加配定数の改善〔+395人〕
  - ・ 小学校専科指導(外国語・理科・体育等)の充実 +165人
  - ・ 主体的・対話的で深い学びの充実  
(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善) +10人
  - ・ いじめ・不登校等への対応強化 +25人
  - ・ 貧困に起因する学力課題の解消 +50人
  - ・ 統合校・小規模校への支援 +75人
  - ・ 「チーム学校」の実現に向けた次世代の学校指導体制の基盤整備 +70人

《教員給与の改善》

- ・ 部活動指導業務手当の改善 3,000円→3,600円 等

**島教協相互援助規定のご紹介**

- ①結婚祝金の給付 5,000円
- ②出産祝金の給付 5,000円
- ③永年勤続祝金の給付 5,000円
- ④病氣見舞金の給付 5,000円  
(傷病約1ヶ月の療養)
- ⑤災害見舞金の給付  
(住宅又は家財の損害を受けたとき程度に応じて)
- ⑥死亡弔慰金  
(会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、ご本人または学校代表は、事務局まで連絡をお願いします。

**島教協会員証特典のご紹介**

「T・ジョイ出雲」劇場売店にて  
(ゆめタウン出雲 東館3階)

「島教協会員証を提示する」と

売店人気ナンバー1の  
**ポップコーンセット**  
(通常750円)を  
ワンコイン(500円)で  
購入できます!

ぜひ、劇場売店へお立ち寄りください。  
同伴者も同様の対応ができます。

歓迎! 新規加入者

片寄 直寛さん  
(出雲市・高松小)

よりよい教育環境をめざす島教協の仲間とともに、固く手を取り合って、ともに健全な教育実践に邁進していきます。